



6年生活躍!!
手づくりの子どもまつり
100人楽しむ♪ 10/24
 子ども会育成会



平成27年11月1日現在

総人口	12,564人
男	6,120人
女	6,444人
世帯数	5,088世帯



立体カード作り

実行委員長 胡桃澤 実彩

1年生から6年生まで多くの人が参加してくれました。中学生の方からは「皆で楽しく過ごしましょう」と言われましたが、準備の時間が少ないのでどうやったらいいか困りました。でも、たくさん笑顔が見えて、まつりが成功したのだとほっとしました。とてもよい子どもまつりとなりました。



松島中学校生徒会役員協力!!
Make-a-fun!
 小学生と仲良くして、楽しく交流することができました。松島中3年 小沼 直貴



こめた想いは、生徒の絆を深める。なので団結力を伝えるために、全力で歌っている雰囲気を出し丁寧にできてよかったです。
 松島中3年 宇留賀 乃杏



読み札は松島中3年高島彩さんの手書き

子どもに自分達の住む地域に目を向けてほしい、という想いを込めた育成会の手づくりカルタが一新されました。今回、島内小学校の有志・松島中学校美術部の皆さんが描いてくれた絵札には、島内の新旧の魅力が沢山詰まっています。地域の皆さんにも使って頂ければ嬉しいです。
 島内子ども会育成会

10年ぶりに新!!
育成会
『島内カルタ』

島内出身で、明治、昭和のはじめにかけて教育者であると同時に高山植物研究の第一人者として活躍された河野齢蔵の生誕150周年記念特別展が、松本市立博物館と山と自然博物館で12月13日まで開催されています。観覧料は市立博物館大人200円、山と自然博物館は大人300円です。



河野齢蔵特別展
 島内小6年 雨宮 幸

どういふ絵を書くか考えて「カルタの絵」の感じを出すことが大変でした。上手に書けたと思うのでよかったです。





防災

松島町会
自主防災勉強会



大運動会

秋を写す

第 1 回 島内地区芸術文化祭
太鼓連朱雀



蟻高書道部パフォーマンス



芸術文化祭

島内公民館
ギャラリー
「ピアッツァ」の予定

- ソープカービング展
12月7日～12月24日
- 島内書道愛好家書道展
1月5日～1月22日



認知症と薬

① 服薬は継続して…

認知症の治療は、根気よく服薬を継続することが大切です。しかし、認知症は改善するわけではなく、症状の悪化を防ぐことが主な目的です。このため服薬を続けていても治療の効果を実感できずに自己判断で服薬を中止してしまう患者様も少なくないようです。でも、途中でやめることはせず、治療の目的を医師や薬剤師に確認し、継続して服薬するようにしましょう。

② 選択に使い分け

最近新しい認知症治療薬が開発され、複数のお薬の中から患者様に合うものを選べたり、2種類のお薬を組み合わせた組み合わせることができるようになりまし。固形の錠剤タイプ他に、飲みやすくするために口腔崩壊錠（水がなくても口腔内で溶ける錠剤）、ドライシロップ（甘い味がついている粉）、ゼリータイプなど、患者様の状態に合わせてお薬を使い分けることができます。

認知症とは？

Vol.3

難な患者様には、このようなお薬を使っていたりすることもお勧めします。

③ 「在宅訪問服薬支援」

認知症の治療のためにお薬が必要な場合でも、適切なお薬の服用ができていないことも多いようです。それは患者様ご本人がお薬を管理できないからです。特に高齢の患者様は多くの併用薬をお持ちの場合が多く、飲んでいただくのも一苦労だと思えます。ご家族やヘルパーさんにお薬を飲ませていただくことがほとんどではないでしょうか。

また認知症治療薬の中には「貼り薬」もあります。飲み忘れ等の問題で飲むことが困

「在宅訪問服薬支援」をご利用ください。薬剤師がご自宅や施設を訪問し、お薬を飲みやすくする工夫、飲み残し等の服薬状況の確認、副作用と考えられる体調変化の確認などを行い、医師やケアマネージャーに報告・相談します。有効かつ適切なお薬の服薬管理と患者様ご家族様、看護師さんやヘルパーさんの負担軽減が可能なうえ、保険適用ができますので、是非かかりつけの薬局に「在宅訪問服薬支援」をお申しつけください。松本薬剤師会 松本薬剤師会 松本薬剤師会 田多井健介